



直方市議会議員 やすなが浩之 市政レポート

スピード感
誠意あり

《2023年1月号》

トップニュース

直方・鞍手新産業団地造成事業

福岡県の令和3年9月議会において、服部福岡県知事が、「直方・鞍手地域において、県として早期の整備に向け検討する」ことを表明され、現在、県において、産業団地の計画区域や土地利用などをまとめた基本設計を実施中です。併せて調査中である土質調査等の結果を踏まえ、本年度中に産業団地内のレイアウトや公共施設等の詳細設計に入る予定です。全体スケジュールの進捗を見定めながら、必要な時期に県および市町の関係者が集まり、お互いに情報共有しながら進めています。

《データセンターとは》

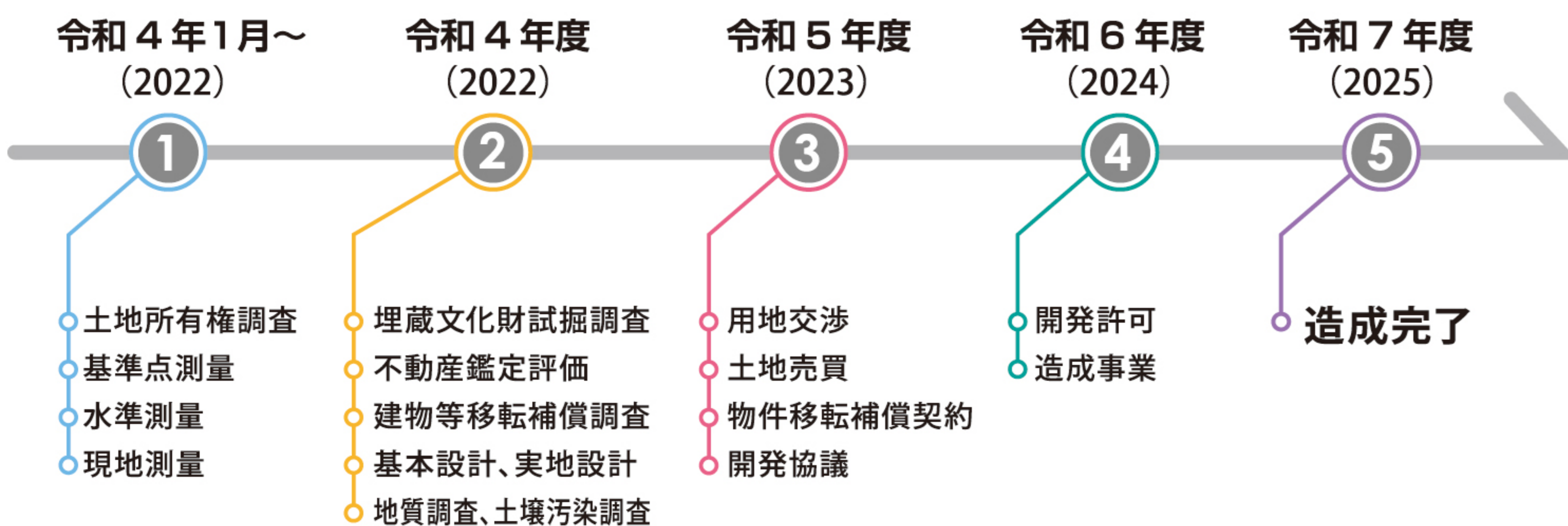
分散するIT機器を集約設置し、強固なセキュリティの確保や情報漏洩に対する施策を効率よく運用することのできる専用施設のことです。インターネット用のサーバやデータ通信、固定・携帯・IP電話などの装置を設置・運用することに特化した建物の総称を指します。

今後、社会活動の様々な場面においてデジタル技術が実践され、インターネット上を流れるデータの流通量が爆発的に急増することが予想されることから、データを蓄積するデータセンターはデジタルインフラと呼ばれ、今後、重要な社会インフラとなります。



※写真はイメージです。

造成事業のスケジュール



■一般質問 令和4年12月定例会

【直方リバーサイドパークの活用】

詳しくは
こちら→



継続
対応

質問

春にはチューリップフェアでたくさんの方が訪れる直方リバーサイドパーク。しかしながら、夏から秋にかけては草生して緑の絨毯が広がるばかりとなっていました。そこで、秋にも花を咲かせて“のおがた”の素晴らしい自然の魅力を高めようとの計画が今年からスタート、チューリップがひまわりに代わり、その周りをコスモスが囲む壮大な取り組みとなりました。ちなみに、コスモスは市民有志の方が種を蒔いてくださり、ひまわりは直方市が種蒔きをする官民共同のプロジェクトとなっています。その実証結果を尋ね、来年の取り組みに対し意見提起しました。

答弁

プロジェクトの実証結果でございますが、花壇土砂流出防止も兼ねまして、今年度試験的にひまわりの種を約6万粒蒔きました。発芽後、台風による増水で、河川側に近く低い部分は、花壇の土砂の流出が見られましたが、ひまわりの根がしっかりと張った箇所は流出を免れ、最終的には約3万株のひまわりが開花をする事が出来ました。また、コスモスにつきましては、増水による影響も無く多くの花が開花し、ひまわり、コスモスと中の島を色鮮やかに彩ることが出来ました。これにより平日はもとより土曜、日曜日には、多くの市民の方々が河川敷公園にお越し頂いて楽しんで頂いたと思っております。来年度以降につきましては、今のところどうするか方針は出ていませんが、今年度の効果を反映し継続の方向で検討していきたいと考えております。

■議案質疑 令和4年12月定例会

【運転免許自主返納への取り組み】

詳しくは
こちら→



対応
予定

質疑

全国的に運転免許返納への取り組みが展開されており、様々な支援策が行われています。運転免許自主返納への支援策を行っている自治体の割合や近隣市町村の支援策の内容について確認するとともに、その目的と効果について共に考え、本市の担うべき役割や取り組みについて意見提起しました。

答弁

県内60団体中46団体が何らかのサービスを実施しています。本市の交通安全施策としましては高齢ドライバーの事故防止は重要な案件でありますので、運転に不安を感じている高齢ドライバーやそのご家族の方に対して、自主的に運転免許証を返納しやすい環境づくりや返納を検討するきっかけづくりとして、新年度から何らかの支援サービスを実施できるよう取り組んでいきたいと考えております。その際には議員ご提案の例も含め、他の自治体の実施内容も参考に運転免許証を返納される高齢者の方が直接利用できるサービスで、利用範囲の選択肢が広がるような内容を工夫したいと思っております。

発行人：直方市議会議員 **安永 浩之**

連絡先：やすなが浩之市議会議員事務所

住所：直方市知古1丁目6番1号

メール：info@h-yasunaga.jp

電話：0949-28-8087

↑携帯電話転送で、いつでも相談を受け付けています。

バックナンバーは公式HPをご覧ください
ホームページ <http://h-yasunaga.jp>

やすなが浩之 検索



ブログ



Facebook



LINE



直方市議会議員

やすなが浩之【4つの重点政策】

地域・産業

◆プレミアム商品券事業

消費需要喚起を目的とし、従来のプレミアム率20%を上乗せした地域商品券発行に加え、プレミアム率40%を上乗せした飲食と旅行に特化した地域商品券を発行する事業を行いました。

◆直方・鞍手新産業団地造成事業

植木地区から鞍手町の隣接する用地について、福岡県による産業団地造成事業の取り組みがスタートしたことから、地元自治体に対応すべき測量委託等を実施中です。

◆技能実習生等外国人支援関係事業

市内企業が雇用している技能実習生等の外国人を支援するための日本語教室を開講しました。あわせて、技能実習生を雇用している民間企業等による協議会を設立し、市内企業による実習生の支援体制を構築しました。

◆産業振興アクションプラン改定業務

新分野への進出や企業のデジタルトランスフォーメーションの推進等に向けて、あらためて本市の産業界の実態を把握し、今後の展望を開くためにアクションプランを改定しています。

医療・福祉

◆出産・子育て応援給付金

令和5年1月以降に妊娠・出産をされる方へ、妊娠届出時に5万円、出生届出時に5万円を交付します。また経過措置として、令和4年4月～12月に出生された方へ5万円を交付する予定です。

◆学業支援金

物価高騰により、高校生の学業がおおそかになることを防ぐため、高校生一人当たり3万円を支援します。

◆アピアランスケア推進事業

がん等に起因し外見の変化を気にする患者さんの気持ちを和らげるため、ウィッグなどの購入費を助成します。

◆小児・AYA世代がん患者在宅療養生活支援事業

40歳未満の末期がん患者の訪問、入浴介護など、在宅療養に係る費用を助成します。

皆様にお約束した政策に関して

本市の状況を報告します！

教育・文化

◆中学校給食の全員喫食化

平成29年2学期から実施していた選択制の中学校給食(喫食率5割程度)について、令和4年2学期より全員喫食の給食を開始し、積年の課題が解決しました。

◆中心市街地子育て支援施設改修事業

中心市街地賑わいづくりのため、中心市街地商店街の空き店舗を改修し、産業振興センターに設置していた子育て支援センターを移転する事業を実施しており、令和5年4月に開設予定です。

◆鍛えてほめて育てるプロジェクト

福岡県が実施しております「鍛えてほめて育てるプロジェクト」の研究協力校に、植木小学校、植木中学校が選定され、ICTを活用した学力向上をテーマとした3年間の事業を実施中です。

◆石炭記念館の文化財保全事業

石炭記念館の敷地内にある模擬坑道の発掘調査を拡大する事業や石炭記念館に所蔵している筑豊炭田地質図など2点の文化財修復事業を行っています。

防災・減災

◆無人航空機(ドローン)による災害対策活動に関する協定締結

直方市内において、地震、風水害その他大規模災害等が発生し、又は発生する恐れがある場合に、直方市が事業者に対して依頼する、無人航空機による災害対策活動により、状況把握や被害の拡大防止、復旧・復興に資することを目的に、無人航空機による災害対策活動に関する協定を締結しました。

◆行政課題解決型IT技術研究開発実証事業(樋門管理)

遠賀川流域に設置されている樋門の遠隔監視、遠隔制御に関する研究開発を行っています。

◆庁舎8階東面カウンターテーブル設置事業費

市庁舎8階東窓側に眺望観覧スペースを設け憩いの場として利用できるようにするための事業を行っています。

◆再生エネルギー発電設備設置業務

本市は、令和4年2月26日第1回直方市環境サミットにおいて「ゼロカーボンシティ」を宣言。また、今年度、脱炭素先行地域として国の選定を受けております。脱炭素化を推進する再生可能エネルギー発電設備として太陽光発電装置を汚泥再生処理センターに導入するための工事を行っています。



【直方市の大型事業】直方市が現在着手している事業、今後、実施予定の事業についてご紹介します。

① (仮称)直方市保健福祉センターの建設

中央公民館周辺に建設する方針を軸に検討を行った結果、中央公民館敷地内に存在する健康福祉課別館、男女共同参画センター本館、同別館の3施設を解体し、その跡地に(仮称)直方市保健福祉センターを建設する方針となりました。現在は、この方針を軸に、令和3年5月に基本構想を策定し、同年に基本設計に着手、令和4年6月に基本設計が完了しています。今後は、詳細設計(実施設計)に着手する予定であり、着々と(仮称)直方市保健福祉センター建設への準備が進んでいます。

② 直方・鞍手新産業団地の造成

市の長年の計画であった植木地区の産業団地計画について、データセンターなどの誘致を目指し、県と鞍手町とともに造成事業を行うこととなりました。現在、地元自治体に対応すべき測量委託等を実施中です。

③ 天神橋架け替え

築約85年が経過し老朽化が激しく、交通渋滞も頻繁に発生していることから、早期の架け替えが必要な橋梁です。現在、県が架け替えの計画を行っています。

④ 公営住宅建替事業

財政状況をみながら、老朽化の進んでいる住宅の集約化を図り、建て替えを検討していきます。

⑤ 直方市庁舎の改修事業

一昨年から、電気・空調設備の機器更新を行っています。今後も、平成25年度に作成した長寿命化計画に基づき順次改修を進めていきます。

⑥ 芝原ポンプ場整備事業

築52年が経過し老朽化が著しいため、ポンプ場の改築や導排水路等の整備計画の見直しを検討し、中心市街地の雨水浸水対策を行います。

